丸亀支部　活動報告

1　研究主題

「自ら学び，自ら行動する生徒の育成」

－さまざまなメディアを活用し，

主体的に学習する生徒の育成－

2　はじめに

メディア教育研究部会では，昨年度のテーマを引き継ぎ，メディア機器の利用や，学習内容のより効果的な定着を図るための視聴覚教材等の活用法を実践・追究してきた。

昨年度は本県で「四国放送教育研究大会」が開催されたので，本部会としても，「放送番組」の効果的利用のあり方に焦点をあて，本テーマにせまった。今年度は、幅広い実践のなかから放送番組も含めた各種視聴覚教材等（ＣＤ・ＤＶＤやパソコン用ソフト等々）の活用事例を交流するなかで，今後のあり方について考察した。

3　研究内容

(1)　教材等の収集・蓄積

昨年度の研究のなかで，授業に則した良質の教育番組や，インターネットで使えるデジタル放送番組，その他の利用に適する番組等が録画・収録，活用されてきた。この成果を踏まえ，各種視聴覚教材等の内容や利用の見込みに配慮しながら，収集・蓄積していく。

(2)　使用目的をはっきりさせる

日常の授業における「学習目標」達成の１つの手段・教材として，授業計画のなかに各種視聴覚教材等を組み込んでいく。

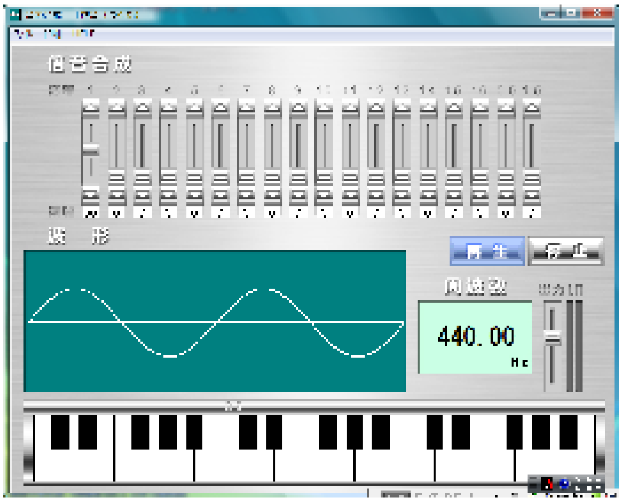
・　視聴覚教材等の活用を通して生徒に身につけさせたい力の明確化

・　単元あるいは1時間の授業の流れのなかでの目的に合わせた視聴覚教材等の位置づけ

・　教科書や他の資料，実験や実技と関連づけた組み合わせ

4　授業に使用した教材等の例

国語	「義経（扇の的）」（平家物語）
社会	「日本の歴史」
	「サン・アースくん」
理科	「ダーウィンが来た！」
	「１０min.ボックス理科」
	「大科学実験」
	「tukune」



【パソコン用ソフト　tukune】

音の学習で使用。周波数を設定することで，いろいろな音を出すことができる。

英語	「そのとき歴史が動いた　～キング牧師～」
美術	「サイエンス０　脳科学」
家庭科	「どうする？　地球のあした」
人権	「そのとき歴史が動いた　～西光万吉の生涯～」
平和	「長崎の鐘は鳴り続ける」

○【実践例】「日本の歴史」（ＤＶＤ）

①　内容

アニメーションによるストーリー展開

で，実写映像による史跡等の紹介も盛り込まれている。1単元につき約15分程度の内容にまとめられている。

② 活用法

・ 毎回の授業の導入部分でＤＶＤを見せ，興味を抱かせるとともに，1時間の学習内容に関するおおまかな流れを把握させる。

・ ＤＶＤを見せている途中，重要語句が用いられるとすぐに，黒板に板書する。

・ 板書した重要語句どうしの関連を示すために，矢印などで補足する。

・ 重要人物が登場した場合には，歴史人物パネルを黒板に掲示し，人物どうしの相関図になるように補足の矢印等を書き入れる。

・ ＤＶＤを見終わると，板書した重要語句の意味や，掲示した重要人物の業績等について発問し，生徒の理解度をはかる。

・ その後，ＤＶＤでは説明されなかった内容にもふれながら，授業を展開していく。

③ 成果

・ アニメーション映像でストーリー仕立てのＤＶＤを使用することで，歴史学習にあまり興味を示さなかった生徒も，意欲的に授業に取り組むことができていた。

・ 教科書や文章資料等を読むことに抵抗感のある生徒も，映像やナレーションなどを通して，自然に歴史の流れをつかむことができていた。

・ ＤＶＤが1単元について15分程度という短時間なので，1時間の授業のなかではＤＶＤを通して生徒が理解した語句や人物を再構成しながら授業を進めることができる。そのため，生徒の理解度が高まり，そのことが生徒の意欲を高めることにもつながるという好循環をもたらしたように思われる。

5 今後の課題

各校の実践を交流するなかで，各教科で，そして道徳などの領域で，視聴覚教材の効果的な利用法が紹介された。今後も，放送番組や新たに制作された教材等に関心を払い，収集・蓄積するとともに，より適切で効果的な活用法を探っていきたい。

その一方で，克服すべき課題も残されている。それは，各種機器の利用状況に関わる課題である。これまで慣れ親しんできた機器の使用頻度は高いものの，新たに導入された機器はあまり使われていない状況がある。機器の使用に対して抵抗のある教師もいる。教師自身が機器の使用法を学び，使用する場面を意図的に設定し，活用したいものである。また，生徒が使用する環境づくりにも努め，本会の研究テーマにより一層近づきたいと考えている。